

笠松小コミュニティだより

発行：笠松小学校学校運営協議会 第10号 令和2年2月14日

【笠松小学校はコミュニティ・スクール】

笠松地区町内会長さんとの懇談会を開催しました。

10月31日(木)第5回学校運営協議会を開催しました。この日は、笠松地区町内会長様(22名)にご出席いただき、懇談会を行いました。以下、その内容を紹介します。

1 挨拶

(1) 会長

- 笠松小学校学校運営協議会は、地域の皆さんと共に、「夢が育つ学校」「夢を実現する地域」を目指しています。そのためには、町内会長様方のご理解・ご協力が不可欠です。子どもたちや教職員の姿、授業や校舎内外の様子を参観の上、ご意見をお聞かせください。

(2) 校長

- 空調設備が故障したり、廊下天井に漏水があったりなど、校舎の老朽化が進んでいます。今日も役場の方に来てもらいましたが、一層迅速な対応が図られるよう、町内会長の皆様にもお口添えをお願いいたします。



2 懇談(意見交流、質疑応答)

(1) 校内・授業参観より

- 安全安心パートナーとして、朝の登校時、子どもたちに接していますが、なかなかこちらの思うようには行動しません。しかし、授業の様子を見せていただくと、1年生の子どもたちもそれなりに授業に向かっていました。さすが先生方だと思いました。
- 低学年では落ち着きのない姿も見られましたが、学年が進むにつれ、子どもたちの集中力が増していると感じました。5年生は多角形の勉強をしていましたが、少人数指導や個別指導も行われ、中学校や高等教育につながる重要な内容がきちんと指導されていました。
- 雨漏りがしているのを実際に見て、これは問題だと実感しました。メンテナンスが定期的に実施されるよう働きかけることが必要だと思いました。

(2) PTA活動について(PTA会長)、子ども会活動について(育成協議会会長)の説明から・・・

Q 笠松小学校のPTA活動はいつごろからどのように行われてきたのでしょうか。

A いつからかは明言できませんが、歴史は古く、混声合唱を軸に活動したり、PTAの歌が今も継承されていたりするなど、伝統的な活動が続いています。



Q 夏休みのラジオ体操に参加し、子どもたちを見ていて、町内会長としてどうしたらいいのか、どうすべきかと思うことがあります。夏休みのラジオ体操はだれ(どこ)の主催なのでしょうか。

A 子ども会育成協議会が主となって行っています。気になること等あれば、声をかけていただければと思います。

「全国学力・学習状況調査」等の結果をもとに協議しました。

12月12日(木)の第6回学校運営協議会では、今年度4月に実施された「全国学力・学習状況調査(6年生対象)」等の結果について、まず教頭より報告・説明がありました。

- 「児童質問紙」の調査結果では、例えば「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」や「将来の夢や目標をもっていますか」など15項目のうち、児童が「はい」と答えた割合が県・国の平均より10%以上のものが11項目もあり、本年度もとても良好な結果でした。
- 一方、「読書は好きですか」、「新聞を読んでいますか」の2項目については、県・国の平均を上回っていたものの、今後さらに意識を高めていきたいと考えています。
- 国語・算数については、県・国の正答率とほぼ同様の結果でした。国語でも算数でも指導改善のポイントを明らかにしてこれまで取り組んできたことが、少しずつ成果として表れてきています。さらに今後へ向けて、「読解力」「深い思考力」「適切な表現力」の向上に努めます。



そこで、今後、次のことを重点として指導を進めていきます。

- 自分の考えを書き、それを仲間と伝え合う時間を位置付け、相手が分かるように伝えることができたかを見届ける。また、授業のまとめを自分の言葉で書いてまとめるようにする。
- 授業等のノートの中から、分かりやすさや深みのあるものを紹介し、広げていく。
- 交流の場面においては、聞いていて分からないことは尋ねて確かめるように指導し、発言をつなげながら、考えを深めたり、広げたりできるような授業づくりを目指す。

また、授業以外でも、高学年で実施している「ふれあいドリルタイム」(前号で紹介)での「天声こども語」や、全員合格を目指した各学年の「くすのき検定」の取組、3年生からの授業における「マイ辞書」活用、自主学習「かチャ勉」の指導を継続していきます。

これを受け、新聞で報道された「経済協力開発機構(OECD)による2018年学習到達度調査(PISA)の結果」などの資料も踏まえ、協議を行いました。

- 学校教育の中心は、確かな学力を付けること。子どもたちが夢をもち、それをかなえられるようにするために、先生方には授業に力を傾注していただきたいと願っています。また、先生方の働き改革が求められている今日、学校行事の縮減などとも併せて、授業以外の負担が軽減されるよう、私たちも協力したいと思います。



- 算数においても、「問題が解けないというよりも、問題文の内容を理解することが難しい」ということも中にはあるようです。読解力に不安があると、思考力や問題解決能力に影響してしまう可能性もあります。「笠松小学校は、図書館の本の貸し出し冊数が多い」と前々から聞いていますが、「読書を量から質へ」と高める必要性が増しているように思います。
- 「読解力を育てる」ことを重要課題として、「こんな指導・活動をしている」という具体例や、「こうしたらどうか」という具体案を出し合えるようにしていけたらと思います。